

令和7年度地域脱炭素
マッチングイベント



『志布志市ゼロカーボンシティ』
の実現に向けて

志布志市 市民環境課



志布志市のプロフィール

- 鹿児島県の東部に位置し、平成18年に3つの町が合併し誕生した。
- 市の南部は志布志湾に面し、国の中核国際港湾である志布志港が整備されており、南九州の物流の拠点である。
- 温暖な気候と広大な農地を活かした農業が盛んであり、お茶（荒茶）の生産量が日本一の鹿児島県において第2位、きれいな地下水を使ったウナギの養殖生産量は日本一である。

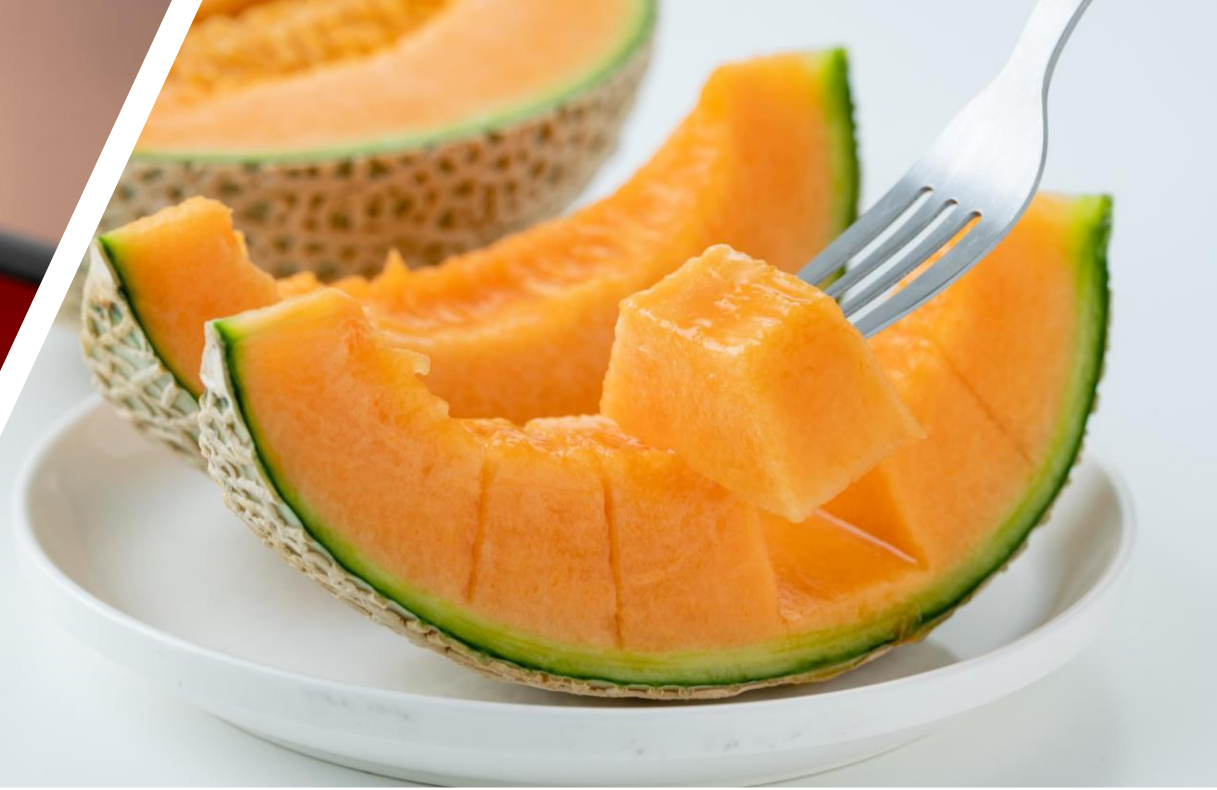
志布志市の基礎データ（R7.7.1）

- 人口 28,346人
- 面積 290.28平方キロメートル
- 人口密度 99.41人/km²
- 世帯数 15,115世帯

志布志市の魅力

- ふるさと納税 納税額 県内 **1位**（R5）
（全国20位 約67億6,500万円）
- 養殖鰻の生産量 鹿児島県 全国 **1位**
（うち志布志市の生産量 県内シェア約 **5割**）
- コンテナ貨物取扱量 九州 **3位**
- 『志』の文字の多さ 全国 **1位**





脱炭素化に向けた志布志市の取り組み

地球温暖化対策実行計画
(事務事業編) を策定

地球温暖化対策実行計画を策定
現行計画に区域施策編、気候変動
適応計画を加え策定。

SDGs未来都市に選定

美しい地球と誇れる志を子どもたちに
～令和版 志布志モデルの構築～



国の地球温暖化対策計画改定に伴い
地球温暖化対策実行計画（事務事業
編）を改定

H25.3

H30.3

R4.2

R4.12

R5.3

R5.12

R7.7

EV充電器を設置（官民連携）

市内の公共施設9か所に28台のEV充電器を
設置。併せて公用車のEV化も行っている。

「志布志市ゼロカーボンシティ」 を宣言

本宣言にて「5Rの積極的取組み」
「市民・事業者と連携した省エ
ネルギーの推進と再生可能エネ
ルギーの自給率向上」等を掲げる。

世界首長誓約/日本に署名

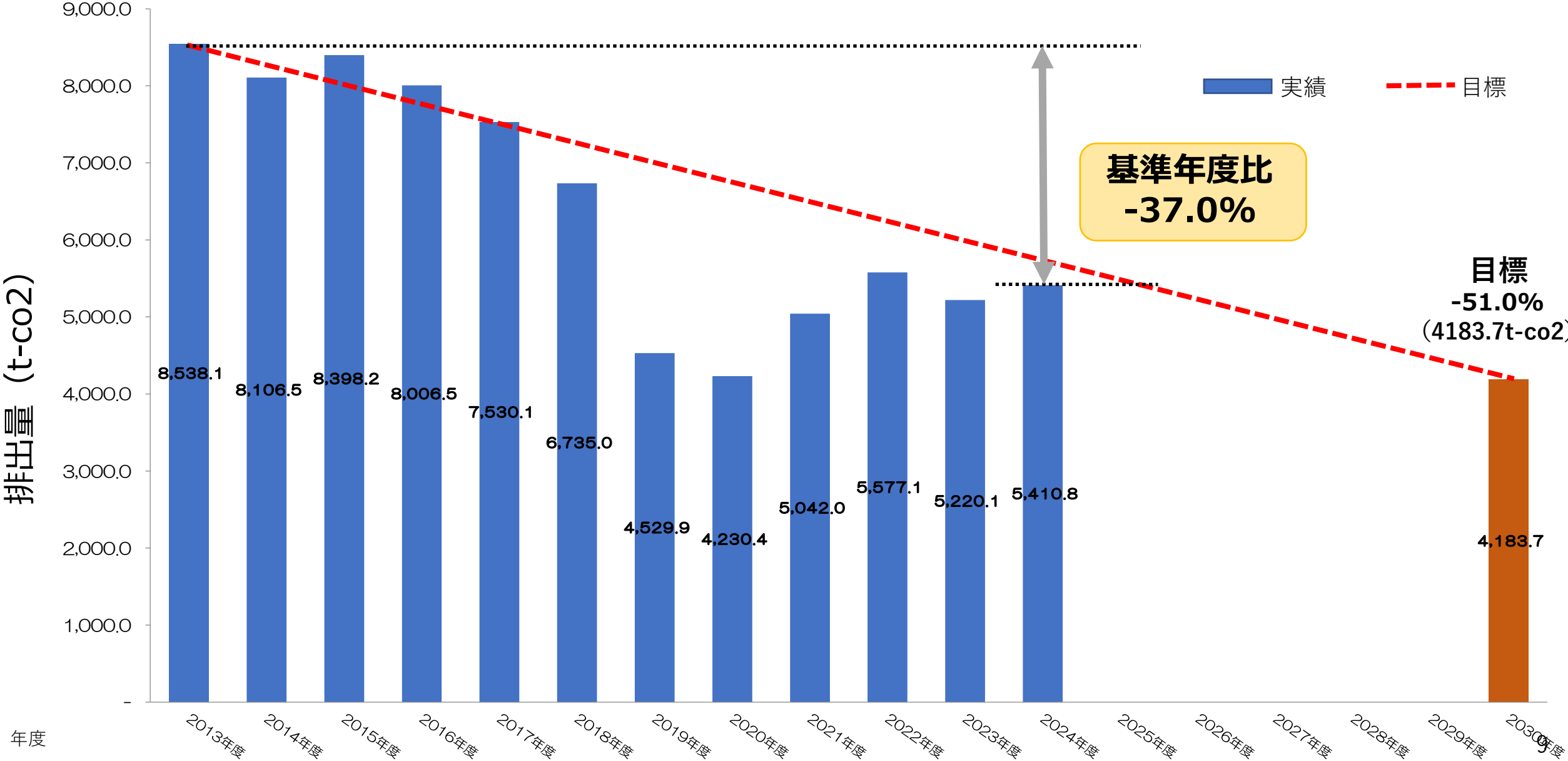
温室効果ガスの国の目標以上
の削減、気候変動の影響への
適応に取り組むことなどを自
治体の首長が誓約する「世界
首長誓約」に署名。



誓約式の様子

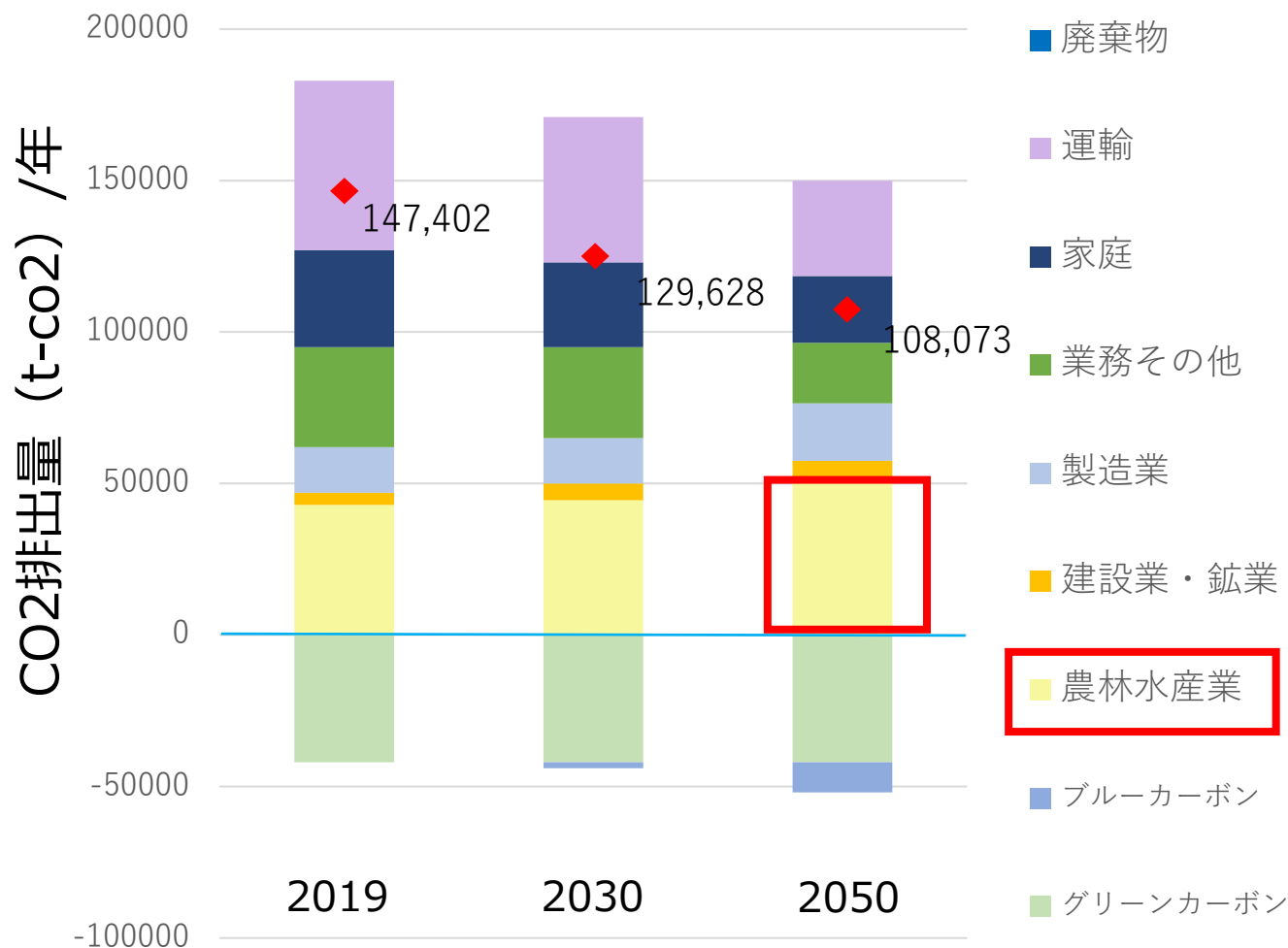
ゼロカーボンシティの実現

志布志市（公共施設）の温室効果ガス排出量と将来目標値



志布志市の課題と解決のために必要なこと

志布志市の将来推計（BAUシナリオ）



現状の課題

農林水産業の脱炭素化が進んでいない！

- ・農林水産業による排出量の割合が大きい。。。
- ・農林水産業の排出量は今後も増える見込み。。。



課題解決のために必要なこと

- 省エネルギー性能の高い設備・機器の導入
- 営農型太陽光発電の展開
- 発熱ボイラーの再エネ化（農業・養鰻業者等向け）
- 事業者の脱炭素意識の醸成

ネットゼロ×ネイチャーポジティブの取組

2025年度SDGs未来都市計画概要（様式2）

計画のタイトル：美しい地球と誇れる志を 子どもたちに 一令和版 志布志モデルの構築—
（ごみ分別から森や海を守り、稼ぐゼロカーボンシティ 志布志へ）

提案者名：鹿児島県志布志市

経済



【課題】

- 地球にやさしく、地域資源を生かした稼ぐ力の向上への対応検討
- ごみゼロエミッション社会を目指した取組検討
- 志布志港へ集積する輸出原木の価格向上を目指す取組

【取組】

- 官民連携を通じた実証実験等の実施推進
- 市地球温暖化対策実行計画による取組とCNP（カーボンニュートラルポート）を目指した取組の推進
- IPM技術や有機農業の実践による海外の農産規制への対応と、産直港湾「志布志港」からの輸出促進
- 先進事例創出によるエコツーリズムやクルーズ入港時の体験メニューの構築
- 木材産業の立地推進とカスケード利用推進による、持続可能な循環型経済の構築

環境面の相乗効果①

- ・ Co2削減
- ・ 農薬使用低減による土壌環境保全
- ・ 原木の付加価値向上による再造林の推進

経済面の相乗効果②

- ・ Co2削減
- ・ 循環型経済や持続可能な社会の構築
- ・ 官民連携の取組構築促進

社会面の相乗効果①

- ・ 地域の雇用創出
- ・ 地域の稼ぐ力向上
- ・ 学びの場の創出

経済面の相乗効果①

- ・ 循環型経済構築へ地域理解醸成
- ・ 域内経済の活性化
- ・ 志チャレンジの場創出

<三側面をつなぐ統合的取組>

美しい地球と誇れる志を 子どもたちに

一令和版 志布志モデルの構築—
（ごみ分別から森や海を守り、
稼ぐゼロカーボンシティ 志布志へ）

<統合的取組の概要>

- ・ 先進技術等を活用した官民での5Rとゼロカーボンの推進
 - 産官学全でのパートナーシップ組織形成
 - SDGsに資する取組の支援体制の構築
 - 志布志港を主体とした新産業創出

環境



【課題】

- 生態系の保全と地球温暖化対策の必要性
- 埋立ごみによる埋立処分場が満杯になる懸念
- 森林の伐採後の再造林率の低迷
- 環境にやさしく、災害に強いまちづくり

【取組】

- ごみ分別による減量化と埋立処分場の延命化、新技術導入等で5Rを推進し、埋立ごみ処理量の低減
- アマモの苗付け推進による藻場再生とブルーカーボン・カーボンクレジットの創出
- 企業放るさと納税の活用や官民連携推進、デジタル技術活用による再造林の推進
- 再造林による森林の吸水力維持と流域河川の水質向上への貢献
- 公共施設での太陽光やEV充電器、バイオマス活用

社会



【課題】

- 先駆的に取り組んできたごみ分別の推進と少子高齢化社会下での課題への対応
- 生物多様性やSDGsへ理解と人材育成

【取組】

- 循環センター設置や官民連携の取組推進等によるさらなる5Rの推進
- 市民の分別負担低減を目指した、企業との実証実験の実施等の取組推進
- 関係機関と連携し、地域の環境を「知る」学習機会を創出し、生物多様性に対する地域内理解の醸成

環境面の相乗効果②

- ・ Co2削減
- ・ 環境負荷低減を意識した社会の構築
- ・ 環境に対する理解と地域内学習機会の創出

社会面の相乗効果②

- ・ Co2削減
- ・ 良質な水の確保
- ・ 森林や海洋資源、生物多様性の保全
- ・ 循環型経済や持続可能な社会の構築

カーボンクレジットの創出
（海洋生態系の保全）

藻場の再生による
ブルーカーボンの拡充！
（官民連携による活動を実施中）

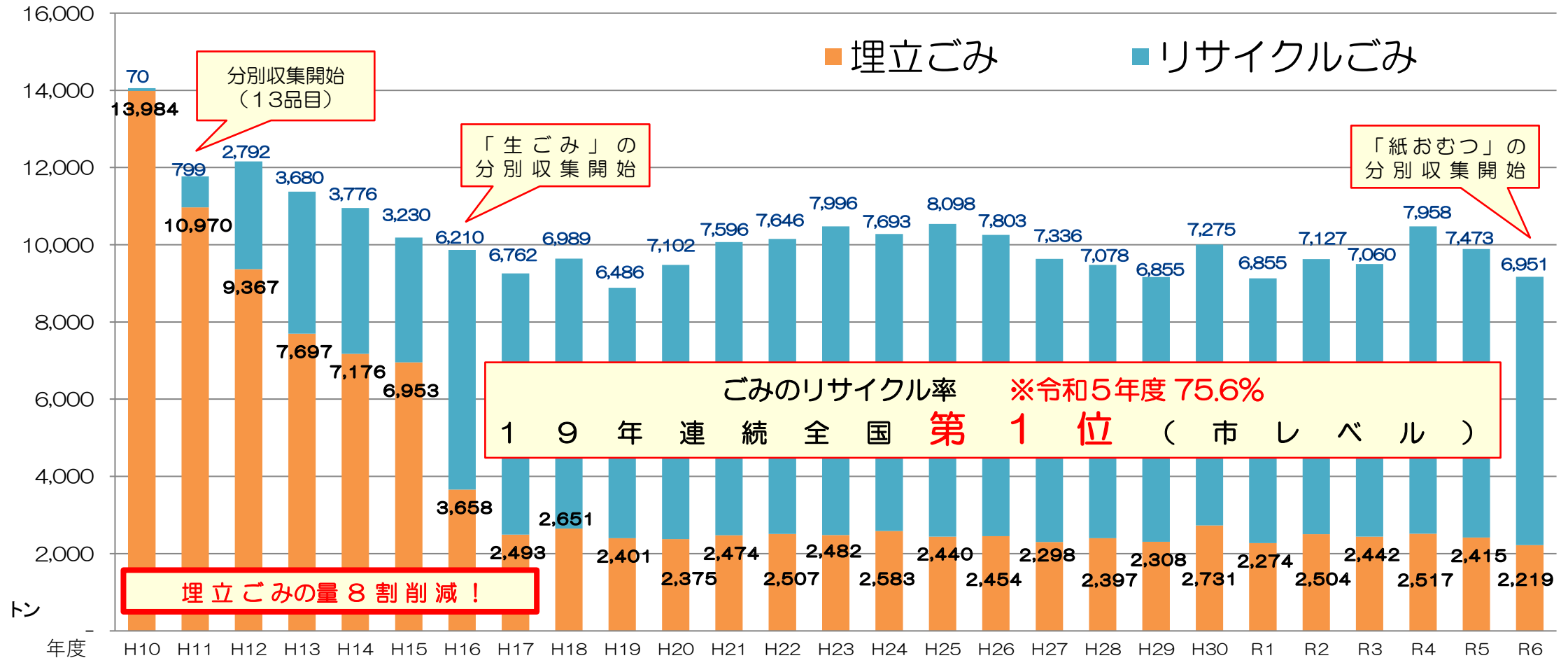


志布志のコアマモの様子

同時解決したい地域の課題【埋立ごみの更なる減量化と利活用】

■焼却施設を所有していない志布志市は、「美しい地球を子どもたちに」「限りある資源を大切にするために」「混ぜればごみ、分ければ資源」の考えを基本に、26品目のごみ分別に取り組んでいるが、埋立ごみの更なる減量化が課題となっている。

■令和6年度から世界初となる「紙おむつ→紙おむつ」の水平リサイクルを実現するなど、脱炭素と資源循環の同時解決を目指している。



ユニ・チャームの「紙おむつ循環モデル」
環境に負荷をかけずに
安全・安心の材料へ。



「紙おむつ循環モデル」の構築運用で、SDGsの推進に貢献

- 紙おむつの再生利用を可能とする技術の確立
- プラントの稼働で、地域における雇用を創出
- 焼却処理と比較して、CO₂排出量を90%以上削減
- パルプの再資源化で、リサイクルパルプの再資源化量使用済みおむつ1トンあたり100kg以上



紙おむつ専用回収ボックス



ユニ・チャーム株式会社様との
包括連携協定締結式の様子 9

ご清聴いただきありがとうございました！
一緒に脱炭素化に向けた取り組みを推進しましょう！！

本イベントでお話したい企業様

- 省エネルギー性能の高い設備・機器の導入を手助けしてくれる企業様
- 営農型太陽光発電の展開に強みのある企業様
- 発熱ボイラーの再エネ化（農業・養鰻業者等向け）に関するノウハウがある企業様
- 事業者の行動変容の促進を手助けしてくれる企業様
- ごみのリユース・リサイクルに関する先進技術等をお持ちの企業様
- ブルーカーボンの拡充に関するノウハウがある企業様

志布志市役所 市民環境課 松永、東

